真夏の「カルメン」

8 月 31 日(日) びわ湖ホール です。

立響がオペラ全曲演奏に挑戦。

この夏、立響は初めてオペラ「カルメン」全曲演奏に挑戦します。しかも学内の有力合唱団２団体、さらには立命館小学校の参加も得て、オール立命館での取り組みとなりました。立響は以前にオペラのピットに入ったことはありますが、今回は初めての自主公演、外部制作チームの協力を得ながら、全４幕、原語（フランス語）での本格上演をいたします。2015 年、創立 60 周年を迎える立響。この学生オーケストラの枠を超えた大型企画に是非ご期待ください。

立命館大学交響楽団オペラプロジェクト 2014

オペラ「カルメン」　作曲：G．ビゼー

日時：8 月 31 日（日）開場　14:00　開演　15:00
会場:滋賀県立芸術劇場　びわ湖ホール　大ホール
指揮:中橋　健太郎左衛門
演出:池田　理代子
配役：カルメン　森山　京子　　ドン・ホセ　木下紀章
エスカミーリョ　村田　孝高　　ミカエラ　前坂　美希
ズニガ　清水　那由太　　フラスキータ　薮田　瑞穂
メルセデス　　堀　万里絵　レメンダード　布施　雅也
管弦楽：立命館大学交響楽団
合唱：立命館大学メンネルコール　立命館大学混声合唱団メディックス　　立命館小学校合唱部
衣装：池田理代子とばらのミューズたち
副指揮：橋詰　智博
コレペティ：臣瀬　励起　　佐藤　望央
スーパーバイザー：八木　清市

入場料　3,000 円

■演奏曲誌上プレビュー

有名な前奏曲で幕が開きます。セヴィリアの街を警備する軍人ドン・ホセは、純情可憐な許嫁ミカエラとささやかな幸せを手に入れれる筈でした。しかし、妖艶なジプシー女カルメンと出逢ってから、歯車が狂い始めます・・・。

1800 年頃ー スペインのセヴィリア。たばこ工場で働く女工たちの中に、ひと際人気を集めるジプシーの女のカルメン。「ハバネラ」を歌って男たちを魅了します。そのカルメンが原因で、女工たちの中でけんか騒ぎが起き、捕らえられたカルメンは衛兵のホセを誘惑して逃げ去ります。

カルメンを逃した罪で幽閉されていたホセは 1 ヶ月の禁固ののち、酒場にいるカルメンに会いに行きます。ホセはカルメンの虜、ホセはカルメンに愛を告白します。カルメンはそれを受け入れますーホセが軍隊を退役し、自分の下に残ることを条件にー。カルメンは密輸団の一員でした。そこにホセの上官のスニガが現れ、状況を察したホセとスニガは決闘することになります。スニガは密輸団に捕らえられ、ホセは決意

立響楽信 38

2014.6
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学交響楽団　ruso_info@yahoo.co.jp

チケット取り扱い　●立命館大学交響楽団　オペラプロジェクト専用アドレス　rits.opera@gmail.com　●オペラコンチェルタンテ事務局　FAX　03-5724-6895 アドレス　bm93ds@bma.biglobb.ne.jp　● e ＋ イープラス　http://eplus.jp
●滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールチケットセンター TEL:077-523-7136(窓口販売のみ)

します。自分の愛に生きようと・・・。

セヴィリアでは闘牛が人気を集めていました。人気闘牛士であるエスカミーリョもカルメンに好意を抱いていた一人でした。 密輸団の野営地に、ホセの許嫁であるミカエラがホセの母親の危篤を知らせにやってきます。ホセは帰郷を決意します。エスカミーリョもカルメンに会いにやってきます。 カルメンはホセにすっかり愛想を尽かし、心はエスカミーリョに移っていきます。

場所は闘牛場。闘牛士エスカミーリョはカルメンと愛の言葉を交わし入場。闘牛場に入るエスカミーリョを見送ったカルメンの前にホセが現れます。復縁を迫るホセ、カルメンはホセを拒絶します。そして・・・。

■中橋健太郎左衛門さんからのメッセージ

私が、尊敬する阪哲朗さんの紹介で、交響楽団の練習を初めて指揮させて頂きましたのが2004年8月でしたので、早いものでもう十年もお世話になっている事になります。その間、様々な歴史的公演、練習、合宿などを通じ、各年代の学生達と交流を深めて参りました。

この度、オペラ「カルメン」の全曲舞台上演を実現するに当たり、交響楽団の学生達は非常に献身的に尽力してくれました。

オペラの本格的上演は、演奏会の何倍もの人間が動かねばなりません。今回の公演では、交響楽団現役学生のみならず、OG、OB の皆様方、混声合唱団メディックス、男声合唱団メンネルコール、小学校合唱部、学生オフィスなどの協力も賜っており、まさに「全立命館」体制を実現出来ました事、深く感謝しております。

私が十年お世話になりまして、音楽的にレヴェルアップした、という以上に、人的財産の蓄積が為されている、という事実は特筆すべきであると考えます。

例を挙げますと、卒団生を中心としたオーケストラが誕生しました。また、エキストラ奏者を招聘するに際には、優秀な OB をすぐにお願い出来ます。卒団後、プロの音楽家を目指す者も出て来ましたし、実際にプロ奏者も既に輩出致しております。これらは、全てこの数年間の事象です。

私見ですが、立響が、現役学生のみならず卒団生を含めた大きなコミュニティに発展していってくれる事を望みますし、既にある程度実現しているという実感があります。

さてそんな交響楽団が「カルメン」に挑戦致します。単純に考えても、普通の演奏会の二倍以上の音符の数が有りますし、交響曲と違ってテンポを自在に伸び縮みさせなければなりません。これは学生達にとっては非常な難物ですが、現在鋭意練習を進めております。

大学オーケストラがオペラ全曲、しかも演奏会形式でなく本格舞台上演、というのは、正確な所は分かりませんが、非常に稀であるのは確かです。

今回の公演は、前述の人的財産の蓄積の上に成り立っております。「卒団生を含めた大きなコミュニティ」が大きく発展していく為に、本公演が少しでも寄与出来るように、私自身全力を尽くす所存です。

皆様、どうかご来場賜りたく、私からもお願い申し上げます。最後に、卒団生の皆様が、寄付等資金面でのご協力下さいました事、深く感謝致します。本当にありがとうございました。

それでは、8 月 31 日(日)、びわ湖ホールでお会いしましょう。

追伸　団費未納の方、宜しくお願い申し上げます(笑)。

創立 60 周年記念・第 114 回定期演奏会の概要です。

創立 60 周年記念・第 114 回定期の計画が具体化してきました。まず、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団チェロ奏者ヘーデンボルク直樹氏の招聘が決定いたしました。氏は指揮者阪哲朗氏と旧知の仲で、アイゼナハ歌劇場、レーゲンスブルクブルク歌劇場でも共演しておられます。曲目等は未定ですが、世界の音楽の中心で活躍する阪×直樹と立響の共演に、団員一同も胸が高鳴っています。また、東京を含む東西 2 公演の実現を目指して現在各方面と調整中です。ご期待ください。

立響顧問の異動です。

長年立響顧問をとして、楽団の発展のご尽力いただきました杉町宏氏、ミシェル・ワッセルマン教授が、本

年3月をもって退任されました。また川崎那恵氏が顧問を辞職、代わりに松井かおり氏（衣笠教務課課長）が就任されました。

阪×春の立響　～10年ぶりの「出会いの地」～

さる5月16日、立響第111回定期が行われました。会場は久しぶりの大阪　ザ・シンフォニーホール。学生オーケストラである立響の『春』定期の難しさと向上への意欲を団長の高野元汰が綴りました。

◆

2015年に創立60周年を迎える立響。「プレ・イヤー」となる2014年度の幕開けを飾ったのが第111回定期演奏会である。『春』は、実力もままならない不安定な時期であることは立響OB諸兄・OG諸姉ならば経験から分かることだろう。その時期に、関西のクラシック音楽文化の中心地であり、その歴史を彩ってきたザ・シンフォニーホールでの定期演奏会を開催するのは挑戦であった。

オーケストラアドヴァイザーである阪哲朗氏を『春』に招聘するのは初めてのことであった。『冬』以外に、氏と1から交響曲を作り上げてきた経験はない。現立響にとっては、すべてが初の試みであった。「感覚の違い、『春』の難しさ」。

「指揮者とオケの息が合っていない」

演奏会後日、このような意見を耳にした。理由は明らかである。オケの技量が、阪氏の求めるそれに到達できなかったからである。

例年、『春』の期間は、指揮者から怒号が飛ぶことが多かった。

「指揮を見なさい」「周りを聴きなさい」

など基本に関することばかりである。代替わりする『春』での、オケの演奏基礎力の低下は学生オケの宿命ではあるが、『春』にそれを克服してきた。　阪氏は、『冬』の立響しか知らない。氏本人も語っていたところである。

4月14日、「例年の感覚」で初めての練習に臨んだ阪氏と立響。阪氏は語った－「ここまで違うとは思わなかった。」－と。

「1ヶ月の努力、興奮の裏の不完全燃焼」

「この1ヶ月の成長は素晴らしかった。」

阪氏がこう語ったように、4月14日以降の団員は目の色が変わったかのように練習に励んだ。　少しでも阪氏の「本場の音楽」に到達しようとー。

直前のホール練習での響きは以前とは比べ物にならないほど良いものとなっていた。立響はシンフォニーホールで響き立った、はずだった。

その日の立響は歓喜に溢れていた。本番が成功に終わった喜びと、自身への満足感で。ホールのホワイエで行われた打ち上げの場でも立響は盛り上がりを見せていた。

しかし、阪氏だけは冷静であった。　氏は、立響の1ヶ月の成長を認めはしたが、『春』の未熟さを鋭く指摘した。盛り上がりを見せる団員も自覚はしていた。決して満足のいく水準の演奏会ではなかった、と。成功かどうか疑いをもつ者もいるであろう。

「－成功－、とは」

「あまりにも時間が少なかった。」

確かに、例年の『春』の定期演奏会よりは1ヶ月ほどの早期開催であった。『春』初めての阪氏からしてもやりたいことが出来なかったと語っている。

何かに理由・原因をつけて事から逃れることは人間の常であるが、立響は逃れることが許されない時期に来ている。常なる成功を義務付けられる音楽集団へと飛躍しているからである。

成功したかどうかは主観と客観が織りなすところであり、正確には分からない。　今回の集客は879名で、近年の『春』の演奏会にしては上々だが果たして成功なのか。実際はホールの半分程度しか埋まっていない。

演奏も、やりきれば成功なのか、クラシック通をうならせれば成功なのか、観客が歓喜に包まれれば成功なのか、自分たちが満足すれば成功なのか。基準は不明瞭である。

演奏に関して、60周年記念で東京公演を計画する今の立響に求められる成功とは、ステージ・客席全体を感動で包み、かつ音楽通をもうならせるという最難関のものである。あくまでも理想論ではあり、所属団員の意見の違いがあるのは当然のことであるが。

「出会いの地、にて」

団員一人一人が特別な思いをもって挑んだ演奏会であることは間違いないだろう。創立50周年記念定期演奏会「第九」で阪哲朗氏と出会った場所での演奏会であった

112回、113回、114回（創立60周年記念演奏会）でも阪哲朗氏を招聘することが決定している。この2年間は阪×立響の二人三脚となる。多くの課題に直面した演奏会ではあった。しかし、この「出会いの地」での再ス

タートは大きな価値をもつことになるであろう。
「 - 成功 - 」の実現を誓って。

第 111 回定期演奏会
日時：2014 年 5 月 16 日（土） 19:00 開演
会場：ザ・シンフォニーホール
指揮：阪 哲朗　竹下 裕也
曲目：J. シュトラウス　喜歌劇「こうもり」序曲
ドヴォルザーク　チェコ組曲　ブラームス　交響曲第 2 番 ニ長調　　アンコール曲　ブラームス　ハンガリア舞曲第 1 番

立響と関連団体の演奏会です。

立響七夕コンサート　～Sound of Orchestra!!～

日時：7 月 7 日（月） 18:00 開演
会場：立命館大学衣笠キャンパス　以学館 1 号ホール
曲目：チャイコフスキー／スラブ行進曲　他

衣笠交響楽団定期演奏会 -第 22 回京都公演-

日時：7 月 26 日（土）　　18:00 開演
会場：京都コンサートホール大ホール
指揮：伊藤和夫ほか
曲目：ベエロール　歌劇「ザンパ」序曲　サン・サーンス　交響詩「死の舞踏」ドビュッシー　小組曲サン・サーンス　交響曲第 3 番　オルガン付

立命館大学交響楽団オペラプロジェクト 2014

オペラ「カルメン」　作曲：G. ビゼー
日時：8 月 31 日（日）開場　14:00　開演　15:00
会場:滋賀県立芸術劇場　びわ湖ホール　大ホール

立命館大学交響楽団定期演奏会 112 回定期演奏会

日時：2014 年 12 月 20 日（土）
会場：京都コンサートホール大ホール
指揮：阪　哲朗
曲目：チャイコフスキー　交響曲第 4 番ヘ短調　他

立響 60 周年記念事業の概要とお願いです。

立響は平成 27（2015）年に創立 60 周年を迎えます。OB 会では立響および OB 会活動の一層の発展を願い、立響創立 60 周年記念事業を計画しています。記念事業業につきましては、現役団員諸君や OB 会若手役員を中心に検討を重ねてまいりましたが、概要がまとまりましたのでお知らせいたします。

【立響創立 60 周年記念事業概要】

記念事業テーマ

「音楽でつながる立響の仲間 ―世代と場所を越えて、次の時代へ―」

記念事業の目的

①立響の 60 年の歴史を振り返り、その意義を確認する。
②立響の演奏活動の一層の高度化を支援する。
③OB・OG、立響友の会会員、一般聴衆のネットワーク化を進め、立響の聴衆の増加と安定化を図る。

主要な事業（詳細は後日発表）

①60 周年誌の編纂。
②60 周年記念式典…2015 年冬の立響定期演奏会に合わせて開催予定。
③現役活動の重点支援…特に 2015 年冬に企画中の東京公演の支援。

【立響創立 60 周年記念事業　協力のお願い】

前述のように、立響創立 60 周年事業の概要が、固まりつつあります。OB・OG の皆さまにおかれましては、何卒、趣旨にご理解いただき、各事業への参加や特別賛助金（一口 10,000 円）へのご協力をお願いいたします。
ご送金は年会費と同じ、ゆうちょ銀行店番 448 普通預金 3930646 立命館大学交響楽団 OB 会宛にお願いいたします。なお、記念事業の検討状況、具体的な実施内容等につきましては、随時、OB 会の公式ウェブサイト（http://rusoob.web.fc2.com/）や Facebook 等を通じて皆様にお知らせいたします。